

USD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色: 週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/26(金)	112.41	112.44	111.38	111.89
18/10/29(月)	111.87	112.56	111.78	112.35
18/10/30(火)	112.35	113.03	112.30	113.03
18/10/31(水)	113.12	113.38	112.81	112.96
18/11/01(木)	112.91	113.00	112.60	112.70
18/11/02(金)	112.66	113.32	112.56	113.21
前週末比	0.25	0.88	1.19	1.32

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	113.38	113.94	114.55
安値	111.78	111.38	109.77

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/26(金)	112.35	112.79	111.88
18/11/02(金)	112.85	112.51	111.91
前週末比	0.50	-0.28	0.03

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/26(金)	-0.05	0.03
18/11/02(金)	0.09	0.01
前週末比	0.14	-0.02

[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/26(金)	34	56	50
18/11/02(金)	91	80	68
前週末比	57	24	18

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/26(金)	114.33	111.26	3.07
18/11/02(金)	113.33	111.70	1.63
前週末比	-1.00	0.44	-1.44

[チャート]



■チャートコメント

- 先週は、月曜日に安値を付け、水曜日に高値を付ける展開でした。実体線が長期の移動平均線の上に位置する状態が継続し、週末には終値ベースで戻り高値を越えてきたこともあり、やや先高感の強い形状での越週となっています。ボリンジャーバンドの幅が狭くなってきている点は値幅の縮小をもたらしますので、これはこれで注意が必要ですが、いずれにしても急落リスクはかなり小さくなったという判断でよいでしょう。そういう意味では、先週末に陽線が出現した意味は大きいと思います。
- 移動平均線は、中期が下落する一方で短期が上昇、3本の移動平均線が上昇トレンドを示唆する順番に並びました。中でも、実体線が長期の移動平均線から乖離した状態が維持できている点が大いと思います。実体線が値持ちすると、中期の移動平均線も上方へ向いてくるはずですので、そうなると買い手の思った通りのシナリオということになると思います。
- MACDは、あまり動きませんが、MACD線が上伸してゼロラインを超えてきました。また、同時に、微妙にゴールデンクロスも形成しています。ガンガンの買いというわけではありませんが、形状そのものが悪い印象を与えるものではありません。
- 今週は、買い先行で臨みたいところです。チャートの売りを示すものがなく、先週金曜日の陽線の出現がある程度の先高感を醸しだしているというのがその根拠です。もちろん、すぐに売られるようでは、強気の相場観を維持することは難しく、そういう意味では、先週金曜日の陽線が大事な道しるべになることが予想されます。ボラティリティが低い状態が続くと、値動き自体が乏しく、買いポジションをもち続けるにも根性が必要になってきますが、今はそういう根性相場と割り切ってトレードするしかないように思います。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

[四本値]

※黄色: 週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/26(金)	127.83	127.88	126.64	127.58
18/10/29(月)	127.49	128.23	127.25	127.80
18/10/30(火)	127.77	128.43	127.73	128.24
18/10/31(水)	128.30	128.54	127.66	127.82
18/11/01(木)	127.70	128.76	127.62	128.55
18/11/02(金)	128.55	129.32	128.37	128.93
前週末比	0.71	1.44	1.74	1.35

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	129.32	131.24	133.13
安値	127.25	126.64	124.90

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/26(金)	128.31	129.72	129.63
18/11/02(金)	128.27	128.95	129.44
前週末比	-0.04	-0.77	-0.20

■テクニカル指標

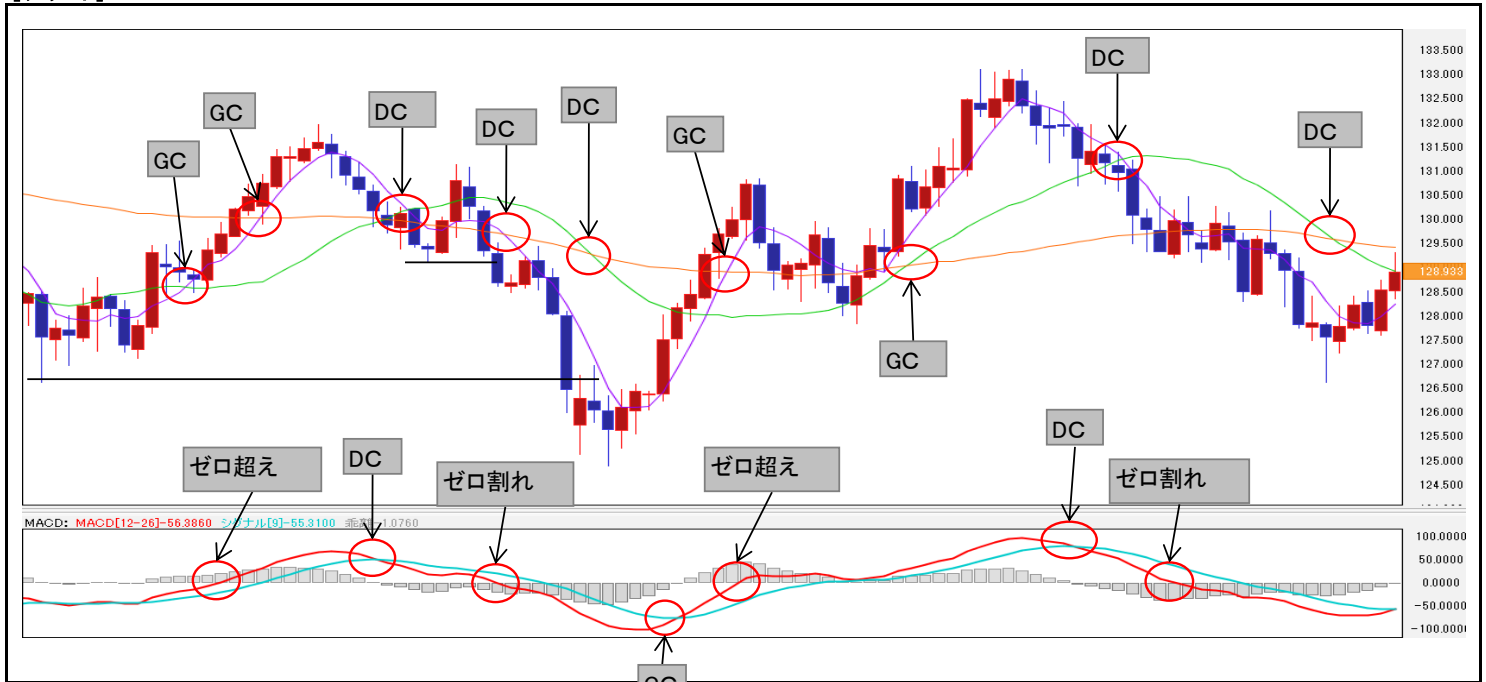
[MACD]

[ストキャスティクス]

[ボリンジャーバンド]

	MACD	Signal	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/26(金)	-0.65	-0.38	26	23	28	132.10	127.34	4.76
18/11/02(金)	-0.56	-0.60	84	48	33	130.60	127.29	3.31
前週末比	0.09	-0.22	58	25	5	-1.50	-0.05	-1.45

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に安値を付け、金曜日に高値を付ける展開でした。戻したのは戻したものの、実体線が長期の移動平均線の下側での推移が続き、「よっこらしよ」という感じで、重い腰を上げるような形の戻りになっています。もちろん、陽線の数も多く、しっかりと下値キープされているようにも見えますので、この位置からの急落は望みにくくと思います。ただ、それ以上に上値の重さも目立つという状況ではないでしょうか。
- (2)移動平均線は、中期と長期の下落が目立ちます。実体線の戻りを受けて、短期の移動平均線も戻ってきていますので、チャートの改善を見せ始めたばかりという判断になりますでしょうか。ただし、中期と長期の移動平均線がデッドクロスを見せており、この点はマイナス要因という風に思います。
- (3)MACDは、シグナル線が下落することでデッドクロスを形成しました。こうした動きはあまり見たことがありません。MACD線の戻りを見る前にシグナル線の下落基調がチャート上に現れたということなのでしょう。ただ、再度のゴールデンクロスの可能性も高く、そういう意味ではあまり気にする必要はなさそうですね。
- (4)今週は、やや買い先行で臨みたいところです。「やや」としたのは、ドル円対比でアンダーパフォームの可能性が高く、対円で買うのであれば、ユーロ円よりもドル円の方が有望と感じられるからです。本格的に買えるのは、実体線が長期の移動平均線を安定的に上抜けてきて、さらなる上伸が望めるところからだと思います。そういう観点で言うと、まだまだ戻り始めたばかりで、いざ少し下落すると、再度下落リスクの再燃というシナリオも考えられます。やはり現時点で買うのであれば、ドル円に軍配が上がるように思います。

情報提供元: (株)チャートリーディング
 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

GBR/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

【四本値】

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/26(金)	144.08	144.16	142.78	143.54
18/10/29(月)	143.44	144.40	143.34	143.76
18/10/30(火)	143.75	144.39	143.21	143.64
18/10/31(水)	143.71	145.13	143.62	144.25
18/11/01(木)	144.08	146.90	144.03	146.49
18/11/02(金)	146.48	147.25	146.29	146.83
前週末比	2.41	3.10	3.51	3.29

【高値・安値】

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	147.25	149.51	149.72
安値	143.21	142.78	139.89

【移動平均】

	5日	20日	75日
18/10/26(金)	144.88	147.14	145.55
18/11/02(金)	144.99	146.30	145.40
前週末比	0.12	-0.84	-0.16

■テクニカル指標

【MACD】

	MACD	Signal
18/10/26(金)	-0.59	0.06
18/11/02(金)	-0.50	-0.52
前週末比	0.09	-0.58

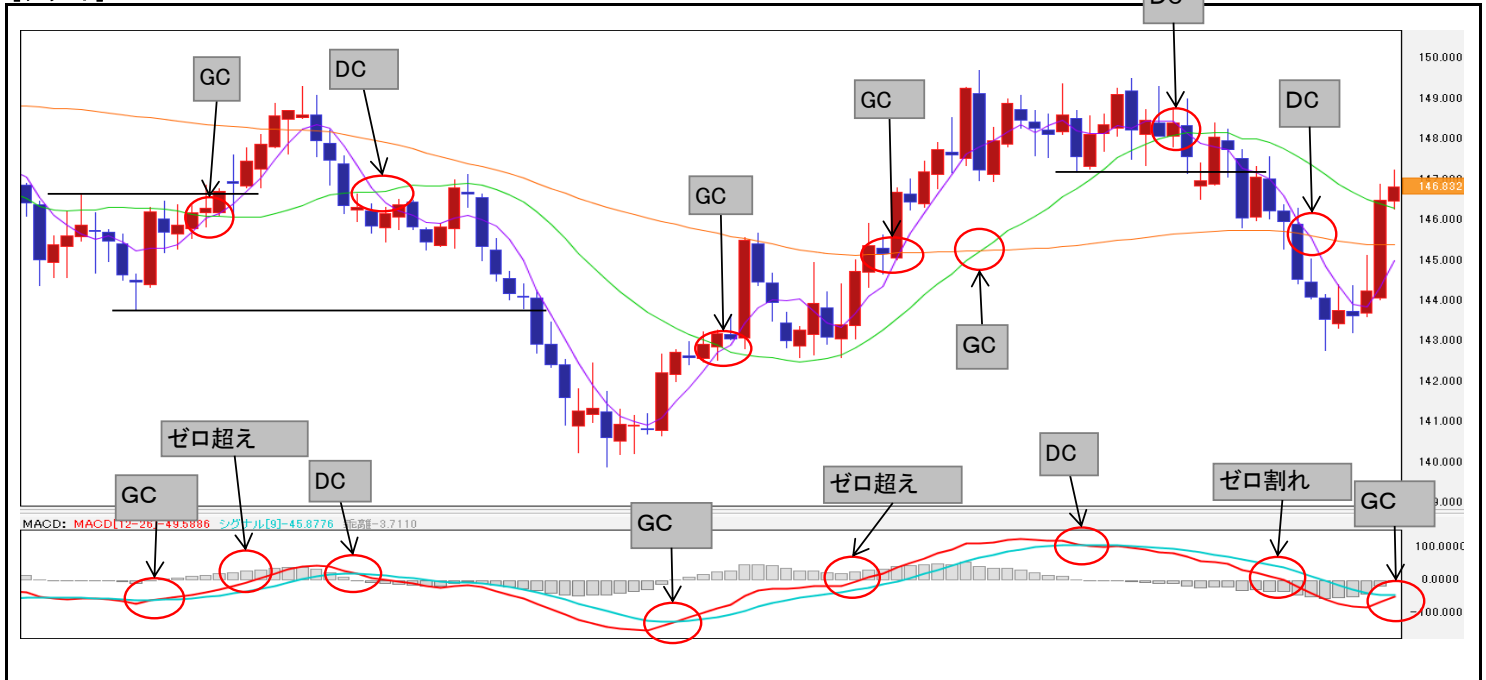
【ストキャスティクス】

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/26(金)	14	9	17
18/11/02(金)	91	45	23
前週末比	77	36	6

【ボリンジャーバンド】

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/26(金)	150.24	144.05	6.19
18/11/02(金)	149.70	142.90	6.80
前週末比	-0.54	-1.15	0.61

【チャート】



■チャートコメント

- (1)先週は、火曜日に安値を付け、金曜日に高値を付ける展開でした。あまりにも象徴的なのは木曜日の陽線の出現でしょう。先々週の厳しい下落のウツパンを晴らすかのような、荒々しいまでの陽線の出現ということで、売り方は一気に蹴散らされてしまいました。こうしたチャートの形状になると、もはや売りだとか、そういう寝ぼけたことを言っている状態からは遠く、下がったところは逃げ遅れた売り方が買い戻しを入れてくることが予想されます。こうした動きがさらに底堅さを実現する要因になるような気がします。
- (2)移動平均線は、中期・長期が下落する一方で、短期が微妙に上昇しました。中期・長期の移動平均線の下落については、先週木曜日以降の上伸を全く反映できていないものですので、水準そのものを見るよりないでしょう。その水準についても、実体線が大きく下から上へ突き上げる形になっており、そういう意味でもチャートは完全に陽転したと言えると思います。
- (3)MACDは、MACD線が少しだけ上昇、シグナル線が下落したことでデッドクロスを実現しました。ただし、MACD線は既に上伸基調入りしており、再度のゴールデンクロスを実現するのは当然の流れと言えます。MACDの遅効性があるので、こうしたチャート形成を見せるのは仕方ないと思います。
- (4)今週は、買い先行で臨みたいところです。9月下旬以降の揉み合いゾーンが上側に待ち受けており、このレベルを一気に上抜けする可能性は高くはないと思います。ただし、やはり先週後半の戻りがあまりにも鮮明すぎて、一気に反転して売られるというシナリオを描くこともまた、難しいと思います。そうすると、先々週までの下落局面で買い方が投げ切っているとすれば、上の重石はそれほど感じられないかも、という予想が立ちますので、そういう観点でも買い先行とすべきかもしれません。ボラティリティが高い点には注意が必要ですが、妙に弱気になる必要はないと思います。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

AUD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/26(金)	79.56	79.59	78.56	79.34
18/10/29(月)	79.31	79.76	79.11	79.28
18/10/30(火)	79.24	80.36	79.23	80.31
18/10/31(水)	80.33	80.38	79.85	79.88
18/11/01(木)	79.86	81.26	79.86	81.20
18/11/02(金)	81.16	81.94	81.03	81.48
前週末比	1.60	2.35	2.47	2.14

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	81.94	81.94	83.25
安値	79.11	78.56	78.56

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/26(金)	79.54	80.15	81.07
18/11/02(金)	80.43	79.94	80.89
前週末比	0.89	-0.20	-0.18

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/26(金)	-0.39	-0.34
18/11/02(金)	-0.03	-0.30
前週末比	0.35	0.05

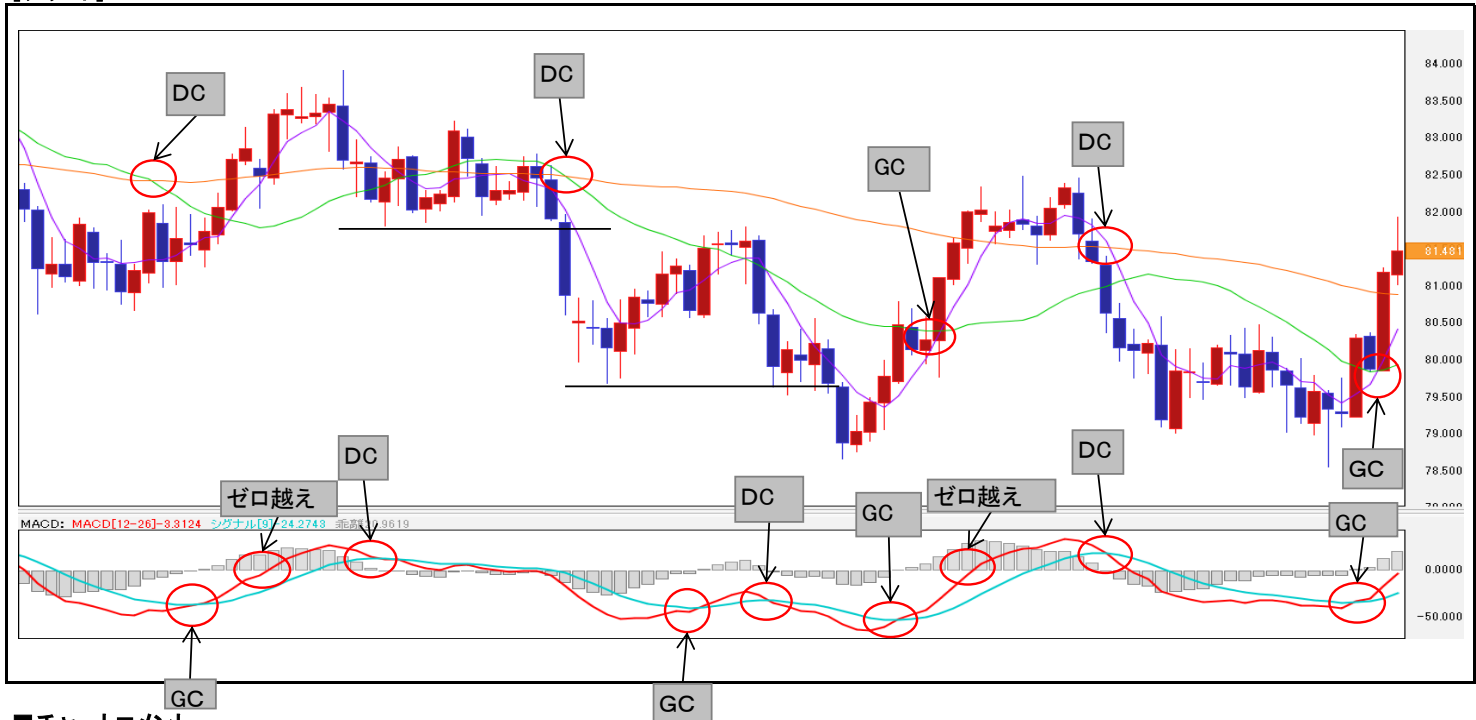
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/26(金)	40	39	48
18/11/02(金)	86	79	57
前週末比	46	40	9

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/26(金)	81.73	78.56	3.17
18/11/02(金)	81.09	78.80	2.29
前週末比	-0.64	0.24	-0.88

[チャート]



■チャートコメント

- 先週は、月曜日に安値を付け、金曜日に高値を付ける展開でした。火曜日の戻りも衝撃的でしたが、それ以上に衝撃を与えたのは、木曜日の陽線ということになります。売り方からすると、「もー！（怒）」という感じで、とにかく買い戻すしかないという動きが延々と続いたということをチャートが表しています。金曜日には、さすがに息切れたのか上ヒゲも引いていますが、陽線は陽線で引けていますので、そういう意味では弱い相場のように見えませんね。
- 移動平均線は、中期・長期が下落する一方で短期が急上昇を見せています。もちろん、中期・長期の下落は、直近の短期の急上昇を反映したものではありませんので、その動き自体にはあまり意味はなく、水準そのものが意味を持っていると考えるべきでしょう。また、実体線が大きく伸びたことで長期の移動平均線水準を超えてきた点は、買い方にとって久々の恵みの雨と言えそうです。
- MACDは、MACD線が上伸してゴールデンクロスを形成しました。実体線の動きを実に淡々と描写した様子がチャートからもうかがえます。もう少しでMACD線がゼロラインを超えということで、こちらも買いを示すチャートと言えそうです。
- 今週は、買い先行で臨みたいところです。先週金曜日の上ヒゲが気になるころではありますが、そうは言っても先週の戻りの形状を見るにつけ、これは容易なことでは下落しないだろうという予想は楽に立つところでもあります。ターゲット的には、10月上旬の戻り高値がまずは目標となるところで、ここを超えると基本的には青天井です。一気に上に抜けるイメージはありませんが、しばらく下落傾向が続いたことから、エネルギーの蓄積という意味では十分な時間の経過があったという判断も可能だと思います。

情報提供元：(株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中

EUR/USD

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/10/26(金)	1.1372	1.1421	1.1336	1.1402
18/10/29(月)	1.1396	1.1416	1.1360	1.1375
18/10/30(火)	1.1371	1.1388	1.1340	1.1346
18/10/31(水)	1.1342	1.1360	1.1302	1.1315
18/11/01(木)	1.1311	1.1424	1.1307	1.1408
18/11/02(金)	1.1410	1.1456	1.1372	1.1389
前週末比	0.0038	0.0035	0.0036	-0.0013

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	1.1456	1.1621	1.1815
安値	1.1302	1.1302	1.1301

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/10/26(金)	1.1420	1.1501	1.1587
18/11/02(金)	1.1367	1.1460	1.1566
前週末比	-0.0054	-0.0040	-0.0021

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/10/26(金)	-0.0053	-0.0036
18/11/02(金)	-0.0059	-0.0054
前週末比	-0.0006	-0.0018

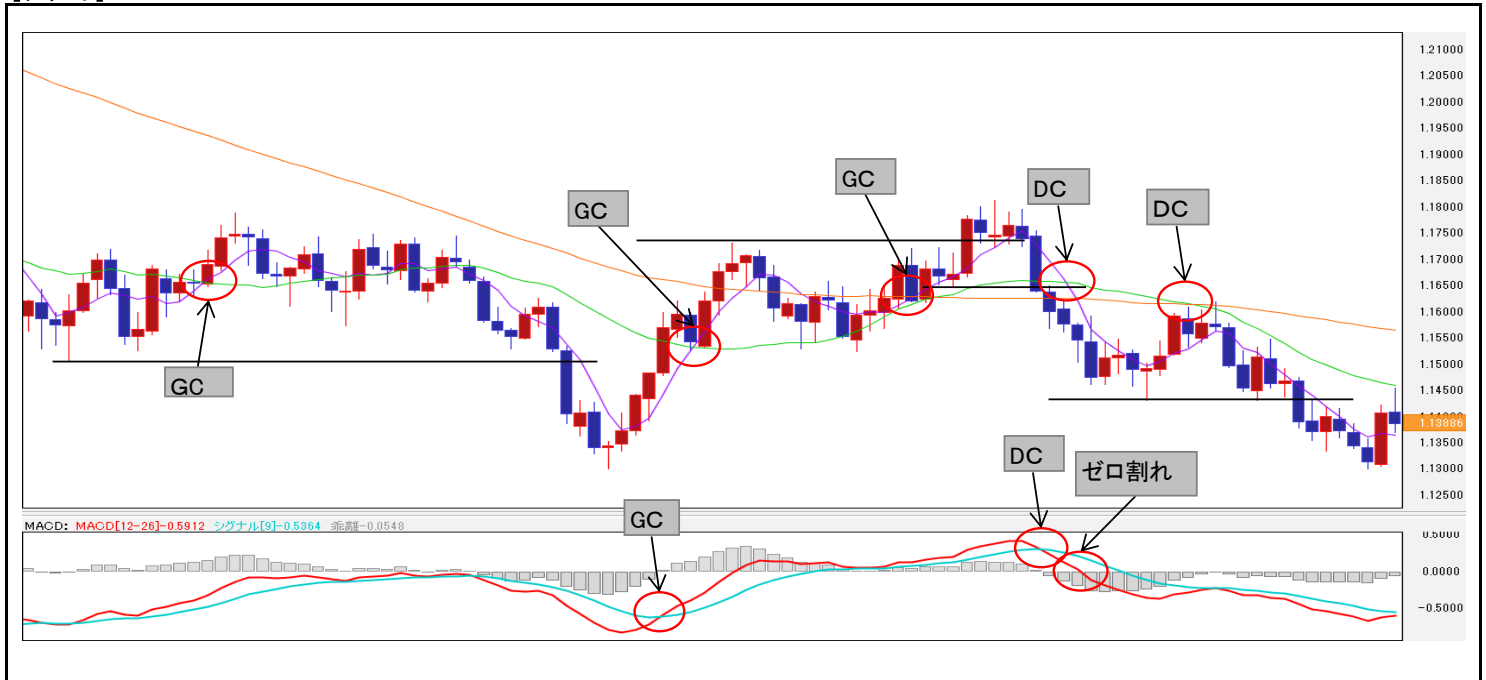
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/10/26(金)	23	14	23
18/11/02(金)	45	22	16
前週末比	22	8	-7

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/10/26(金)	1.1624	1.1377	0.0247
18/11/02(金)	1.1621	1.1300	0.0321
前週末比	-0.0003	-0.0077	0.0074

[チャート]



■チャートコメント

- 先週は、水曜日に安値を付け、金曜日に高値を付ける展開でした。週初から週央までは、先週の流れを引き継ぎ下落基調をたどりましたが、木曜日は一転反発、金曜日は何とも中途半端な値動きとなり、そのまま越週となりました。実体線が長期の移動平均線の下側に位置していますし、先週末の動きを見る限りでは、まだ反発局面に入ったとは言いがたい感じがしますが、どうも煮え切らない動きという判断が妥当なところではないでしょうか。
- 移動平均線は、3本とも下落しました。実体線が戻ったことで、短期の移動平均線の上に実体線が位置している点が改善と言えば改善でしょうか。ただ、中期・長期の移動平均線が下向き推移を続けている点は、実体線にとっても大きな荷物という感じがします。上伸するにしても、まずは中期の移動平均線を安定的にクリアすることが求められそうです。
- MACDは、MACD線・シグナル線ともに下落しました。ただし、あまり動きは鮮明ではなく、実体線の中途半端な動きをどうにも表現しにくい感じがうかがえます。実体線が少し伸びれば、MACDもゴールデンクロスを容易に形成しますし、そういう意味では反発の可能性もかなり感じさせるかなといったところでしょうか。
- 今週は、上を取りにくるようであれば見送りが賢明でしょうか。先週前半までの下落ゾーンに差し掛かってきますし、強烈な戻り売りを浴びせられる可能性も高いと思います。逆に、下を取りにくるようであれば、売りで攻めるチャンスは十分にあるように思います。特に、先週木曜日の安値割れは、先週木曜日以降の反発を全て帳消しにするポイントですので、ここは積極的に売ってみてもよいのではないかと思います。こうした局面でスルスルと戻す可能性ももちろんあるわけですが、少しは気合入れて下がってみようという風に、個人的には感じています。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【PR】無料オンラインセミナー「チャートリーディングで相場を読む」(講師 井上義教) 申込受付中